



平成 30 年度 NPO 等による復興支援事業

3.11 いわて 文化復興支援フォーラム

【第一部】 いわて震災エッセイ 2019 入賞作品授賞式
朗読発表～公募震災エッセイより～

【第二部】 ディスカッション

「震災からの思いを語り継ぐ、今、求められること」

平成 31 年 3 月 10 日(日) 13:30 (13:00 開場 / 全席自由)

もりおか町家物語館 浜藤ホール

定員 80 名: 入場無料(要予約)

入場ご希望の方は、「お名前」「ご連絡先」を下記申込先までご連絡ください。
定員に達し次第締め切りとなります。あらかじめご了承ください。

《主催》盛岡市、特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター、特定非営利活動法人盛岡まち並み塾
《申込・問合せ先》

TEL:019-604-9020 MAIL:kaze@iwate-arts.jp WEB:http://iwate-arts.jp (担当: 藤原・安藤)

第一部:いわて震災エッセイ2019 入賞作品授賞式

朗読発表 ～公募震災エッセイより～ 構成・演出:坂田 裕一

東日本大震災から8年目を迎える今年。被災した方々や、被災地に寄り添う方々からエッセイを募集しました。寄せられた作品の中から数篇を、俳優やアナウンサーによる朗読として上演します。

【出演】



坂元 貞美

鹿児島県出身。学生劇団を経て「状況劇場」に入団。以降唐十郎作品に出演。状況劇場退団後は舞台、映画、テレビドラマ、吹き替えなどで活躍中。岩手の公演では 2015 年「したまち小劇場祭 一人芝居」、2016 年「残花～1945 さくら隊 園井恵子～」に出演。



佐藤 くみこ

千葉市出身。1992 年 IBC 岩手放送にアナウンサーとして入社。退社後はフリーで司会・アナウンス業を務め、2006 年 KOTOSE 音読教室(現 株式会社 KOTOSE)を開講。2015 年日本滑舌能力検定協会を発足し、検定業務開始。現在は各種講座の開講、研修指導、講演会活動などを通して「声を出すこと」で気持ちを前向きにし、「声」で全国の人をつなぐ「声の輪づくり」を呼び掛けている。岩手日報紙面にてコラム「いわての風」執筆中。

【演奏】



鈴木 牧子

盛岡市在住。ジャズピアニスト。1996～98 まで自己のカルテットで横浜ジャズプロムナードその他のコンテストで優秀賞三度受賞。2016、1st アルバム『My Dear』を発表。翌年発売記念ツアーを新宿ピットインなどで行う。2018、2nd アルバム『NEXT』を発表。2019、盛岡おでってホールなど3カ所で開催アルバム発売記念ツアーを行う。

第二部:ディスカッション「震災からの思いを語り継ぐ、今、求められること」

識者や被災地の復興関係者をゲストに招いて「震災からの思いを語り継ぐ、今、求められること」をテーマにディスカッションを行います。

【ゲスト】



外岡 秀俊

(作家・元朝日新聞社東京本社編集局長)
1953 年札幌市生まれ。作家、ジャーナリスト。元朝日新聞社編集局長。著書に石川啄木をテーマにした小説「北帰行」がある。東日本大震災の際は、現地に取材に入り、啄木、賢治の世界から、震災を考察した。



荒木 奏子

(にじのライブラリー前現地責任者)
昭和 47 年 1 月生まれ。陸前高田市今泉天満宮境内にある私設図書館「にじのライブラリー」の現地責任者として、地域の憩いの場、女性の収入創出の事業「ふつら布ぞりの会」を展開中。



神久保 敬里

(「いわて震災エッセイ 2019」最優秀賞受賞者)
遠野市出身。震災時は久慈市に勤務していた。プライベートで、活字になっていない怪談・奇談を中心に、むかすっこかたりをしている。今回「いわて震災エッセイ 2019」最優秀賞を受賞。

【コーディネーター】



坂田 裕一

(特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長)
岩手県演劇協会会長、公益財団法人全国公民館連合会理事、など。また、日本演出者協会会員でもあり、いわてアートサポートセンターや所属する劇団赤い風の演劇公演の演出を多数手がけている。震災後はいわて文化支援ネットワークの設立を主導するほか、二戸市民文士劇やみやこ市民劇などの市民参加劇の演出を担当。

【会場周辺地図】



【アクセス】

《バス》

- ①盛岡駅東口 13 番乗り場「矢巾営業所行き」乗車、「南大通二丁目」降車
- ②盛岡駅東口 5 番乗り場「盛南ループ(右回り)」乗車、「南大通二丁目」降車

《徒歩》

- 旧盛岡バスセンターより 20 分
- 仙北町駅より 20 分
- 南大通二丁目バス停より 7 分

《タクシー》

- 盛岡駅より 10 分 / 仙北町駅より 5 分